

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 8 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 高土の未来づくり懇談会について（公開）
- (2) 雄志中学校の生徒との意見交換及び 3 区合同意見交換の振り返り（公開）
- (3) 地域活動支援事業にかかる平成 29 年度の高土区の方針について（公開）

3 開催日時

平成 29 年 1 月 17 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

3 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、金子和博、小林トシ子、中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男、横山とも子（欠席 2 人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・挨拶

【小林主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

- ・会議録の確認者：樋口委員

議題 (1) 「高士の未来づくり懇談会について」事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.1 により説明

【飯野会長】

当日の参加者を把握したいので、事務局より配布された受付名簿に記載されている方以外で、出席の報告を受けている方がいれば教えてほしい。

— 情報提供・整理 —

委員からの情報提供の結果、受付名簿に記載されている方の他に 6 名増えて、全員で 28 名の参加予定となった。地域協議会委員を含めて、総勢 40 名程となる。

次に、懇談会の方法を協議する。グループ別で懇談会を行うのか、参加者全員が車座になって話すのか、方法はいろいろあると思うが、なるべく参加された地域の皆さんからたくさんの意見をお話しいただけるような方法を採用したい。そこで、正副会長と事務局で事前打合せを行い、実施方法の案を考えた。これから事務局より正副会長の案を説明していただき、その案に対して委員の皆さんがどのように考えるかを教えていただきたいと思うが、このような形で進めてよいか。

— 「よし」の声多数 —

それでは、事務局に説明を求める。

【小林主事】

正副会長の案について説明する。まず、懇談会は少人数のグループワーク形式で実施したい。これは申込者が 30 名近くいるので、全員で車座になった場合、一言も話さずに終わってしまう方が出てくる可能性があるためだ。また、各グループに地域協議会委員が入り、司会進行を行いながら、参加者が話しやすい雰囲気をつくっていただきたい。

次に、グループ分けの方法を 2 パターン考えたので、どちらの方法が良いか、委員の意見を伺いたい。まず 1 つ目のパターンは、「世代別でグループをつくる方法」だ。次に 2 つ目のパターンは「縦割りにして各グループに様々な世代が集まるようにする方法」だ。どちらにも良い点があると思うので、これからフリートーク形式で意見交換をしながら決定していただきたい。

【飯野会長】

事務局から説明があったとおり、正副会長の案に対して委員の皆さんがどのように考えるかを教えていただきたい。ここからはフリートーク形式で意見交換を行い、最終的に意見をまとめたいと思うので、ご意見のまとまった委員から発言してほしい。

ー 以下フリートークの主な内容 ー

- ・参加者と委員を世代別に分けて、同年代で話し合う方法が良いと思う。今回は若い世代の方も多く参加されるので、同年代同士の方が話しやすいのではないかな。
- ・今回は、第3期目の委員になって初めて行う意見交換会なので、委員の顔と名前、考え方を知ってもらいたいと思うので、全員で車座になった方が良いと思う。グループ別の方が話しやすいという考えも理解できるので、2回目以降をそのような形にしてはどうか。
- ・意見交換会の時間が1時間30分程度なので、全員で車座になって話し合うには時間が少ないと思う。グループに分かれて、それぞれ意見を出し合って最後に代表者が発表する形が良いと思う。また、グループの分け方は年代別に賛成である。
- ・全員で車座になり、一人ずつマイクを渡して意見を話してもらってはどうか。その方が、誰がどんなことを考えているのかを知ることができる。グループに分かれてしまうと、グループでまとめた意見は分かるが、一人ひとりがどのような事を考えているのかが分からない。
- ・参加者の名簿を見ると、各団体の方や町内会長を経験されている方は、全員の前でも上手く意見を話せると思う。しかし今回は、地域協議会の存在を初めて知るような方からも参加していただく。このような方から「地域づくりって面白いかも」と思っただけでなくはないか。そうであれば、まずは少人数で話しやすい環境にするべきではないか。確かに、グループが一緒にならなかった方の意見を聞くことができないが、そこは委員が各グループにいるのでメモしておき、次回の地域協議会で情報共有すればよいと思う。

【飯野会長】

皆さんから様々なご意見をいただいたので、この辺りでまとめたいと思う。まずはグループに分けるか全員で車座になるかを決めたい。その前に質問があれば発言してほしい。

【金子委員】

意見の中で、「2回目以降はグループ別で行う」と言う話があったが、この意見交換会は第2回目、第3回目と続けて開催するという考えでよいか。

【飯野会長】

必ずやると決まっているわけではないが、せっかくの機会なので繰り返し実施したいと思っている。そのためにも、参加された地域の方から「次も参加したい」と思っただけのような内容にしなくてはいけないと思う。

【横川委員】

何回になるのかは分からないが、1回だけで終わるようではいけないと思う。地域の方から意見を言ってもらっただけで終わらせずに、前に進めるためにどうしようかを考えるのが地域協議会の役目だと思う。最初は大きなテーマでやって、そこからテーマを絞り、回を重ねるごとに具体化していくのが理想だと思う。

【青木副会長】

グループに分けてやった方がよいと思うが、メンバー構成について、個人的には若い人たちの中に入って話しをしたいと思う。世代別に分けると、おそらく私は町内会長世代のグループになる。町内会長の皆さんとは、この機会でもなくても話しをすることができるが、若い世代の皆さんとは、このような機会でないとなかなか話す機会がない。町内会長や団体の代表者の前で意見を述べることは、若い世代の皆さんにとっては少し緊張するかもしれないが、そこは委員が上手くリードし、話しやすい雰囲気をつくってあげればよいと思う。

【飯野会長】

それでは、意見をまとめたいと思う。私としては、参加者と委員を3グループに分け、グループごとに意見交換を実施したい。メンバー構成については、青木副会長が言われたように縦割りにして、各グループに様々な世代の方が入るようにしたいと思う。この方法でよいか、委員の皆さんのご意見を伺いたい。

— 「よし」の声多数 —

それでは、これで決定する。次に当日の詳細について事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・当日の集合時間：会場設営にご協力いただける委員は午後6時に集合
- ・資料の配布：地域協議会委員及び参加者へ事前に資料を送付
- ・懇談会の流れ：自己紹介、事務局より説明の後でグループ別の意見交換を実施

【飯野会長】

次に、議題 2「雄志中学校の生徒との意見交換会及び 3 区合同意見交換会の振り返りについて」に入る。昨年 12 月 4 日に雄志中学校の生徒との意見交換会が開催された。当日は都合が合わず欠席された委員もいらっしやったので、意見交換の内容について委員全員で情報共有することを目的に振り返りを行う。事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・参考資料④により説明

【飯野会長】

それでは、青木副会長より順番に発表していただきたい。

【青木副会長】

地域の活動にもっと参加したいと思っている生徒がいて嬉しく思った。私が以前、雄志中学校の運営委員をやっていた時も、高土まつりや体育大会などのイベントに中学生に参加してもらおうという取組はやってきたが、もっと積極的にボランティアとしてイベントの運営にも参加してもらえればよいと思った。これからは、地域から中学校へ積極的に働きかけ、生徒たちと地域との交流の場をつくっていくことが大切だと感じた。

【金子委員】

中学生らしい目線で地域を見ていると感じた。地域のゴミマップを作ってゴミ拾いを行ったり、花いっぱい活動をやっていたり、大人では気づかない視点で活動していて素晴らしいと思った。中学生の退席後に、3 区の地域協議会委員で懇談会を行ったが、その中で、中学生の意見をヒントにして「きれいなまちフォトコンテスト」などを行い、自慢できる風景などを応募して展示会をしたら面白いという意見が出た。他の区でも私と同じく写真が好きな方がいて、良い写真を撮っているそうだ。それを中学生の目線で、中学生が撮った地域の自慢の風景をカレンダーにしたらどうかという話も出た。いずれにしても 3 区で協力していくことが必要だと感じた。

【中嶋委員】

参加した中学生はそれぞれ地域に対する思いがしっかりしていることが印象的であった。地域として中学生と関わる機会をもう少しつくるのが大事だと思った。中学生だけでは無理な面もあるので、中学生がやってきたものに対して地域の人が参加していくことによって、地域全体でやっていくイベントにも中学生が入ってきやすいの

ではないかと思った。お互いが望んでいることは多分一緒なのだと思う。ただ、やり方に中学生と地域では壁があると思った。その壁をなくしていきたい。

【日向委員】

自分の息子が来年度から雄志中学校の3年生になるが、今回意見交換を行った中学3年生は思った以上に自分の意見を持っていて、しっかりした意見が飛び交っていたので参加して良かったと思う。

どの地域も、地域らしいイベントをしているので、3区で連携できる部分があると思う。また、中学生が「自分たちの住んでいる地域の良いところ、自慢できるところは自然がたくさんあるところだ」と言っていて感心した。そして、中学生が自分たちの意見をもっと発言する機会をつくってほしいと話していたので、地域の中でそのような機会をつくってあげたいと思った。

【飯野会長】

参加してくれた生徒たちは、私たちの前で堂々と発言してくれていた。「地域の良いところ」や「もっとこんな地域にしたい」という意見がたくさんあったが、このような話を家庭でもしてほしいと思った。そうすることで、地域活動に参加している親や祖父母に伝わり、地域の中で中学生が活躍するきっかけが早くできるのではないかと思った。

地域社会の中で中学生も大事な地域の構成員であるので、皆で話し合わなければいけないと思っている。

これで、振り返りを終わりにするが、今後は子どもたちの考えを取り入れながら地域づくりをしていきたいと思うので、皆さんも協力してほしい。

それでは、次の議題に進む。議題3「地域活動支援事業に係る平成29年度の高土区の方針について」、まずは事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.2、No.3、No.4により説明

【飯野会長】

事務局から説明があったとおり、来年度の地域活動支援事業の募集に向けて、高土区地域協議会の中で決めなければいけないことがたくさんある。本日は残りの時間で、できるところまで進め、続きは次回会議に回すが、事前説明会の日程はこの場で決めたいと思う。他の区では平日の夜に開催のところもあるが、高土区では例年、休日の

午前中に開催しているので、例年どおり3月上旬の休日の午前中に開催したいと思う。正副会長としては、3月4日の土曜日、午前10時から開催したいと考えているが、皆さんはどうか。

— 「よし」の声多数 —

それでは、正副会長案のとおり開催する。委員の皆さんもご都合のつく方からは是非出席していただきたいと思う。

本日は予定していた時間となったので、ここまでとする。次回の会議で続きを検討するので、それぞれ資料に目を通して来ていただきたい。

それでは、次第4「その他」に入る。ここでは次回の会議日程を決めたいと思う。

— 日程調整 —

- ・次回の高士区地域協議会：2月14日（火）午後6時30分から 高士地区公民館
次に事務局から報告をお願いします。

【山田センター長】

地域自治区としての、高士区の区域の変更についてご報告する。昨年12月に、高和町町内会長及び津有区の劔町内会長から、本年1月1日に、津有区の劔町内会に属していた「上坪集落」と呼ばれる地域の世帯が、高和町町内会に編入するとの報告を、市にいただいた。

資料にあるように、合併前の上越市の地域自治区の区域は、「上越市地域自治区の設置に関する条例」の中で住所で示しているが、町内会の区域を地域自治区の区域で分断しないことを基本としている。町内会の区域は必ずしも住所と一致するものではないため、1つの住所が複数の地域自治区の区域に含まれる状況があることから、そのような場合、条例上は「〇〇町の一部」として、該当する複数の地域自治区の区域にそれぞれ掲載している。

今回のケースは、劔町内会から分離した世帯については、町内会としては高和町であっても、住所が「大字劔」であることに変わらない。条例上、現在、「大字劔」は津有区の区域とされていることから、これを「大字劔の一部」と表現を改め、新たに高士区の区域にも「大字劔の一部」を追加することが必要となる。そのためには条例改正の手続きが必要となり、3月の市議会定例会において審議いただく予定である。

現在、条例上の表現と現状とが合っていない形になっているが、運用としては分離した世帯はすでに高和町町内会の一員として対応いただいております、高士区の住民の皆様にとって影響はないものと考えています。このような変更が行われるということをお含みおきいただきたい。地域自治区としての高士区の区域の変更についての報告は以上である。

【飯野会長】

以上で本日の会議を終了する。青木副会長より閉会の挨拶をいただく。

【青木副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。